

政策シート

政策名

08 美術館の魅力の創出

予算費目名

01 美術館費

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野

06 文化・生涯学習

理想の姿 (30年後)	◆創造都市を実現し、音楽の都として世界から注目されている。
政策の柱 (10年後)	◆音楽などの芸術をきっかけとして新たな文化や産業が創出されている。 ◆多様な歴史・文化による豊かさやスポーツによる喜びを市民が実感している。

基本政策

01 感動のある生活、歴史・文化・スポーツによる豊かさの創造

(2) 政策の概要(当年度(2024年度)実施内容)

市民の芸術文化活動を促進するため、市民文化の創造拠点を担うとともに、優れた美術作品や館蔵品の鑑賞機会を提供するなど、多様なニーズに応えることができる美術館の事業の充実を図る。

(3) 関連するSDGsのゴール

			④教育						

2 政策コストの状況(千円)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	181,025	162,848	130,322	169,078	197,671	194,553
決算	163,895	149,547	123,238	164,112	167,881	189,906
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	75,600	75,600	75,600	59,080	59,360	65,800
年間経費(決算+A+B)	239,495	225,147	198,838	223,192	227,241	255,706

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
展覧会入場者の満足度(来場者アンケート)	%	目標	70	80	80	80	80	80
		実績	95	94	82	80	90	93
施設の満足度(来場者アンケート)	%	目標	50	60	60	60	60	60
		実績	83	89	78	74	77	77
		目標						
		実績						

4 当年度(2024年度)政策評価

(1) 当年度(2024年度)実施内容

・清掃や空調機器等の保守点検など、施設・設備を適切に維持管理し、安全かつ良好な美術館環境を保つことができた。

・作品燻蒸や修繕、収蔵品管理システム等により、館蔵品を適切に保存・管理することができた。

・企画展、市展・館蔵品展等の展覧会を企画・開催し、優れた美術作品の鑑賞機会を提供できた。また、地域ゆかりの作家・作品の調査・研究に取り組み、その成果を作品解説や講演会、図録の発刊を通じて市民の知識の涵養、美術・文化の振興に貢献できた。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗>	計画通り
・施設・設備の適切な管理運営により、美術品を適切な環境下で保存・展示するとともに良好な鑑賞環境を保つことができた。また、作品の計画的な燻蒸や安全な移動・修繕等、収蔵品管理システムによる適切な作品管理に努めることができた。	
・来場者アンケートで90%以上の方から満足との回答を得られ、初めて美術館に来館される方から美術愛好家まで、幅広い方に満足いただけた。	
・来場者アンケートでは施設満足度が77%あり、目標値は達成したものの、施設の老朽化に関する意見もあった。	

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	美術館運営事業	○	○		76,015	47,292	4.1			0.7	
2	美術館展覧会開催事業	○	○		73,054	51,301	3.4			0.1	
3	秋野不矩美術館管理運営事業	○	○		100,942	92,262	1.2			0.1	
4	美術館資料購入基金積立金	－			2,328	1,728	0.1				
5	美術館デジタル運営経費	－			1,898	1,215	0.1				
6	美術館運営経費(一般諸経費のみ)	－			1,469	755	0.1			0.1	
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計					255,706	194,553	9.0			1.0	

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

(管理番号)									
2024年度	分野 06	基本政策 01	政策 08	予算費目 01	所属コード 000633000	事業 01	(担当課) 美術館	(責任者) 飯室 仁志	(基準日) 2025.7.1

事業シート

(事業名) 01 美術館運営事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

美術館施設・設備を適切に維持管理し、良好な美術館環境を保ち、適切な美術館運営を図る。
美術館資料の収集及び館蔵品の適切な保存管理を行う。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1971	—	一般会計	自治事務(その他)	博物館法

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	○	(施策)	Ⅲ-2(2)イ						

(4) 関連するSDGsのゴール

			④教育						
事業とゴールの 関連性	・国内外の優れた作品や館蔵品を鑑賞できる環境づくりを続けることで、美術との出会いの場を提供し続けるとともに美術の知識を深めることができる。								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	35,278	44,217	32,211	33,989	40,117	47,292
	決算	29,609	38,984	31,117	33,030	37,024	45,355
	国・県支出		6,781				
	市債						
	その他	6,004	4,264	4,480	9,852	4,522	4,431
	一般財源	23,605	27,939	26,637	28,764	32,502	40,924
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		25,900	25,900	25,900	25,900	25,900	30,660
人工	正規	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	4.1
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.7
年間経費(決算+A+B)		55,509	64,884	57,017	58,930	62,924	76,015

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
空調設備整備工事の実施による温湿度管理		目標	温湿度管理	温湿度管理	温湿度管理	温湿度管理	温湿度管理	温湿度管理
		実績	達成	達成	達成	達成	達成	達成
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	06	01	08	01	000633000	01	美術館	飯室 仁志	2025.7.1

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

○美術館維持管理事業

・施設の清掃、警備、くん蒸、消防・空調設備等の維持管理等

○美術館資料収集保存事業

・収蔵品の保全・保存を図るための修繕

・収蔵品管理システムの活用

・作品の調査及び収蔵品の受け入れ



5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

○美術館維持管理事業

機器類の適切な管理運営により、美術品を適切な温湿度管理下で保存・展示することができるとともに、作品の計画的な燻蒸や安全移動など、良好な美術館環境を提供することができた。

○美術館資料収集保存事業

作品の相談・調査・研究を行い、寄贈作品10点を受け入れた。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

輸送費の高騰はじめ、造作・印刷・人件費の高騰で展覧会開催経費がかさんだ。



6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目

現状

 小項目

現状

 /

現状

 事業費

現状

 人工

現状

・設備機器の管理を行いながら良好な美術館環境を維持管理できた。

・地域ゆかりの作品の調査・研究を行い、多様な寄贈作品を受け入れた。今後も継続していく。

大項目

改善

 小項目

業務改善

 / 事業費

現状

 人工

現状

・美術館運営についての考え方による運営を推進していく。

・来館者にとって快適な鑑賞や憩いの場となるようサービス向上に努め、市民ニーズに対応した環境整備に取り組む。

・良好な美術館環境を維持できるよう適切に施設管理していくとともに、収蔵品管理システムの付加機能を活かし、インターネットによる収蔵品情報の公開など時代に対応した取り組みを行っていく。

(管理番号)									
2024年度	分野 06	基本政策 01	政策 08	予算費目 01	所属コード 000633000	事業 02	(担当課) 美術館	(責任者) 飯室 仁志	(基準日) 2025.7.1

事業シート

(事業名) 02 美術館展覧会開催事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

市民に優れた美術作品及び館蔵品の鑑賞機会を提供し、市民の芸術文化の向上を図るとともに、「創造都市・浜松」の実現に寄与する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1971	—	一般会計	自治事務(その他)	博物館法

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	○	(施策)	Ⅲ-2(2)イ						

(4) 関連するSDGsのゴール

			④教育						
事業とゴールの 関連性		・国内外の優れた作品を鑑賞できる環境や教育普及活動により、美術との出会いの場を広げるとともに美術の知識を深めることができる。 ・優れた館蔵品の研究を進めるとともに後世に残し、つなげる。							

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	56,825	65,082	42,027	54,430	63,670	51,301
	決算	48,045	61,204	40,812	50,652	50,049	48,974
	国・県支出			1,669			
	市債						
	その他	50,493	19,074	43,421	36,232	55,322	13,735
	一般財源	-2,448	42,130	-4,278	14,234	-5,273	35,239
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		25,900	25,900	25,900	25,340	25,900	24,080
人工	正規	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.4
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.5	0.5	0.5	0.3	0.5	0.1
年間経費(決算+A+B)		73,945	87,104	66,712	75,992	75,949	73,054

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
展覧会観覧者数(人)		目標	83,000	85,000	85,000	85,000	85,000	85,000
		実績	174,622	65,081	82,620	78,159	129,491	93,296
市展応募作品数(点)		目標	350	350	350	350	350	350
		実績	273	315	285	304	315	316
館蔵品展観覧者数(人)		目標	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
		実績	1,590	1,825	1,254	2,227	2,784	2,006
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	06	01	08	01	000633000	02	美術館	飯室 仁志	2025.7.1

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

- 平常展開催事業
 - ・市展(2025.2.22～3.26)・子どもの市展(2025.1.8～1.22)
- 企画展開催事業
 - ・浜松ゆかりの洋画展(2024.4.13～6.2)・小杉コレクション展(2024.10.12～12.15)
- 特別展開催事業
 - ・7人のミューズ展(2024.6.22～9.15)
- 教育普及事業
 - ・ギャラリートーク、ワークショップ、講演会 など ・教員向け研修、博物館実習
 - ・出前講座 ・子どもの市展 ・展覧会図録の刊行 ・美術館年報の作成

5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

- ・7人のミューズ展は、7人の現代切り絵作家の多様な表現を紹介し、作家による多彩なイベントを開催し好評を博した。
- ・浜松ゆかりの洋画展は、郷土ゆかりの洋画家の知られざる足跡をたどれた。
- ・小杉コレクション展は、陶磁器所蔵作品を市民に公開する良い機会となった。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

・観覧料、物販収入において現金以外にもカード等キャッシュレス決済を一部の展覧会で導入した。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

(管理番号)									
2024年度	分野 06	基本政策 01	政策 08	予算費目 01	所属コード 000633000	事業 03	(担当課) 美術館	(責任者) 飯室 仁志	(基準日) 2025.7.1

事業シート

(事業名) 03 秋野不矩美術館管理運営事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

秋野不矩美術館の管理運営に指定管理者制度を導入する。秋野不矩美術館の維持管理を行い、所蔵品展及び特別展を開催する。文化勲章受章者である日本画家秋野不矩の業績と秋野不矩を取り巻く日本画家の作品を紹介。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2022	—	一般会計	自治事務(その他)	博物館法、地方自治法

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	○	(施策)	Ⅲ-2(2)イ						

(4) 関連するSDGsのゴール

			④教育						
事業とゴールの 関連性	安全で快適な観覧環境の整備に努め、良質な展覧会を企画・運営し市民への教育普及に努める。								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	86,613	51,259	51,194	77,774	90,172	92,262
	決算	84,100	47,299	46,492	77,736	77,205	92,262
	国・県支出			4,195			
	市債						
	その他	5,034	6,476	11,647	16,109	24,579	12,973
	一般財源	79,066	40,823	30,650	61,627	52,626	79,289
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		23,800	23,800	23,800	2,380	2,380	8,680
人工	正規	3.0	3.0	3.0	0.3	0.3	1.2
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	1.0	1.0	1.0	0.1	0.1	0.1
年間経費(決算+A+B)		107,900	71,099	70,292	80,116	79,585	100,942

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
所蔵品展観覧者数(人)		目標	7,000	7,000	10,000	10,000	10,000	10,000
		実績	6,886	7,520	12,968	7,181	7,898	6,823
特別展観覧者数(人)		目標	6,000	12,000	12,000	20,000	20,000	20,000
		実績	5,358	6,960	7,660	13,937	14,296	17,796
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	06	01	08	01	000633000	03	美術館	飯室 仁志	2025.7.1

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

本年度から指定管理者施設制度導入する施設である。

○所蔵品展開催事業
 本館所蔵作品を中心に秋野不矩の業績を広く紹介する所蔵品展を年5回開催する。

○特別展開催事業
 秋野不矩を取り巻く日本画家の作品を紹介し、現代日本画壇における秋野芸術の理解を深めるため特別展を年3回開催する。



5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

・所蔵品展を106日間開催し、延べ6,823人の来館者に秋野不矩の作品、業績を広く紹介した。

・特別展は「内田あぐり 汎 Fluxes」「日本画☆動物園」「秋野不矩と高畑郁子—インドとの邂逅—」の3回実施し、134日間の開催期間で延べ17,796 人の来館者に、秋野不矩を取り巻く作家たちの作品を紹介することで、秋野不矩作品に対する理解を深めることができた。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

2022年度から指定管理者施設制度を導入。

・指定管理者との協定に基づく開催日数及び不矩に関する展覧会の実施並びに調査・研究を行った。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

2022年度から指定管理者施設制度を導入。

生誕120年(2028年)に向けて、不矩の人物像や作品の調査研究をさらに深め、新たな価値の創出につなげる。

(管理番号)									
2024年度	分野 06	基本政策 01	政策 08	予算費目 01	所属コード 000633000	事業 04	(担当課) 美術館	(責任者) 飯室 仁志	(基準日) 2025.7.1

事業シート

(事業名) 04 美術館資料購入基金積立金

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

基金の利息や寄附金を美術館資料購入基金へ積み立てる。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1974	—	一般会計	自治事務(その他)	浜松市美術館資料購入基金に関する条例

(3) 事業の位置付け

主要事業		※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性									

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	1,345	1,392	2,111	926	1,791	1,728
	決算	1,345	1,392	2,111	826	1,791	1,628
	国・県支出						
	市債						
	その他	1,345	1,392	2,111	826	1,791	1,628
	一般財源						
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)					700	700	700
人工	正規				0.1	0.1	0.1
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(決算+A+B)		1,345	1,392	2,111	1,526	2,491	2,328

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
篤志家等からの寄附金積立(件数)		目標	1	1	1	1	1	1
		実績	0	0	0	0	1	0
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

- ・篤志家等からの寄附金を美術館資料購入基金へ積み立てる。
- ・美術館資料購入基金の運用利息を基金へ積み立てる。

5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・篤志家の積み立て及び運用利息の積み立てを行う。

(管理番号)									
2024年度	分野 06	基本政策 01	政策 08	予算費目 01	所属コード 000633000	事業 05	(担当課) 美術館	(責任者) 飯室 仁志	(基準日) 2025.7.1

事業シート

(事業名) 05 美術館デジタル運営経費

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

クラウド型収蔵品管理システムを導入したことにより、収蔵品の効率的な管理や収蔵品データの公開など収蔵品情報の汎用性を高め市民サービスに繋げる。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2021	—			

(3) 事業の位置付け

主要事業		※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性	・収蔵する作品の魅力をデジタルデータにより、多くの市民に紹介する。 ・常に入館者数を確認し、安全対策に努める。								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算			1,833	1,204	1,180	1,215
	決算			1,823	1,178	1,176	1,198
	国・県支出			800	402		
	市債						
	その他						
	一般財源			1,023	776	1,176	1,198
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)					980	700	700
人工	正規				0.1	0.1	0.1
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)				0.1		
年間経費(決算+A+B)				1,823	2,158	1,876	1,898

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
ピープルカウンター設置により混雑状況を把握し、状況に応じて入館制限。		目標			設置	入館者数把握	入館者数把握	入館者数把握
		実績			設置	達成	達成	達成
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	06	01	08	01	000633000	05	美術館	飯室 仁志	2025.7.1

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

ピープルカウンターを活用し、入館者の混雑状況の把握に努める。

5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

ピープルカウンターを設置し館内滞在者の状況把握が可能になったため、リアルタイムに混雑状況をインターネットでお知らせでき、状況にあわせた入館管理ができた。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工
館内滞在者の状況把握とリアルタイムによる混雑状況のお知らせを行った。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工
館内滞在者の状況把握とリアルタイムによる混雑状況のお知らせを行う。

(管理番号)									
2024年度	分野 06	基本政策 01	政策 08	予算費目 01	所属コード 000633000	事業 06	(担当課) 美術館	(責任者) 飯室 仁志	(基準日) 2025.7.1

事業シート

(事業名) 06 美術館運営経費(一般諸経費のみ)

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

美術館の一般事務に要する経費

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等

(3) 事業の位置付け

主要事業		※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性									

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	964	898	946	755	741	755
	決算	796	668	883	690	636	489
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	796	668	883	690	636	489
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)					3,780	3,780	980
人工	正規				0.5	0.5	0.1
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)				0.1	0.1	0.1
年間経費(決算+A+B)		796	668	883	4,470	4,416	1,469

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)



(1)事業の成果と課題

指標の達成度

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

6 事業の見直し (Action)



(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工